

演習 事例

■グループホーム・就労継続支援事B型業所及び地域の状況

【グループホーム】

- ・介護サービス包括型
- ・夜間支援体制はなし。緊急連絡体制の整備あり。
- ・入居定員 16名 (グループホーム4名定員 4か所)
- ・定期的に季節行事、食事会、世話人との買い物あり。
- ・世話人業務・・・介護や介助を行わず、家事援助をし、ご利用者の良き相談者、理解者となる身近な職種。
- ・生活支援員・・・介護や介助をメインとすることご利用者の良き相談者、理解者となる身近な職種。

【就労継続支援B型事業所】

- ・多機能型事業所
 - 就労継続支援B型事業所 定員40名
 - 就労移行支援事業所 定員20名
- ・サービス提供日・時間 平日 9:00～16:30
- ・主な作業内容

施設内作業	工賃
◆受託作業 (アンテナ組立、菓子箱組立、金属部品組立)	・基本工賃 約3万円
◆自販機管理作業 (商品発注、補充、売上集計他)	
◆清掃作業 (館内清掃他)	
◆食品加工作業 (パン・弁当の製造販売)	
施設外作業	
◆特養施設の作業 (居室、廊下等の施設内清掃他)	

- ・利用者の主たる障害は知的障害だが、身体・精神の重複障害がある方や発達障害のある方も利用されている。
- ・同一法人内に自立訓練の事業もあり。
- ・職業指導員・・・就労に必要な準備訓練や自活のための技能を身に付けてもらうことを専門に行います。
- ・生活支援員・・・計画支援に基づいて福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理などの具体的な援助を提供します。

【地域の状況】

- ・グループホーム、就労継続支援B型事業所は、同一市内に位置し、徒歩で15分ほどの距離。
- ・最寄駅 (A駅) は、両事業所から徒歩で20分ほどの距離。
- ・富士達也さんの自宅の最寄駅から、A駅までは電車で3駅目となる。
- ・人口約150万人の政令指定都市で、県庁所在地などの主要都市までは電車で20分程度であり、交通の便は整っている。
- ・近隣には商店街があり、買い物等の利便性は高い。
- ・地域の自立支援協議会の運営により、少しずつではあるが事業所間の連携ができてきている。
- ・相談支援センターあじさい、総合病院、複数の社会福祉法人、NPO法人もあるため、障害福祉サービスは受けやすい環境である。